

令和 6 年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 7 年 3 月 22 日 葛飾白百合幼稚園

- 1 本園の教育目標
- ・子ども一人ひとりが尊重される環境のなかで様々な体験をさせ、一人ひとりの発達段階にそくした保育をおこなう。

・心身ともにたくましい子どもに育てる。

・ヒトとのふれあいの中で学ばせる。
- 2 本年度重点的に取り組む目標
- ・令和 5 年度に引き続き、新型コロナ感染予防の徹底や他の感染症に注意しながら、子ども達にとって大切な諸活動・諸行事を積極的に取り入れる。

・働く母親への理解と協力を深め、支援する。
- 3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評 価 項 目	評 価	取り組み状況
1	それぞれの園児の発達段階に適合した適時性を考慮し、教えこみにならないよう保育する。	A	それぞれの保育課題の程度を精査し与えることができ、適時性を確保できたものと思われる。また、教員相互の共通理解のため毎月、外部の公認心理師を交え「ケース・カンファレンス」を行なう。
2	コロナ禍以前の遊び量、運動量を確保し、心身の発達に資する。また、一人ひとりが積極的に取り組めるよう、配慮する。	A	マスクをしたときも楽しく走り回り、コロナ禍以前と変わらない。スイミング・運動教室も再開し、運動量は確保できた。屋外活動の機会にマスクをはずすことも増えた。
3	子ども同士、教職員との関係を確保し、社会・情緒的能力の発達に資する。	A	より、精神的に密着した生活が行なわれ、関係は確保できた。
4	諸活動・行事は再開されたものが多い。また、イベント活動で「子ども達と保護者」がともに楽しめるよう配慮する。	B ⁺	諸行事・活動は多く再開できた。また、イベントや講演会に、さらに多くの子ども・保護者が参加するよう呼びかける。

4 総合的な評価

評 価	理 由
B ⁺	4つの評価項目について重点的にとり組んだ結果、諸行事・活動は制限下にも拘わらず、それぞれ所定の教育の実践をすることができた。行事・活動のたびに「園だより」「ホーム・ページ」「インスタ」などで保護者に状況を知らせることで、保護者の協力・理解を得られることも増えた。また、広報を続けてゆくことにより、開かれた幼稚園との印象を持たれた。

5 今後取り組む課題

	課 題	取り組み方法
1	個別の指導計画の策定	それぞれの園児の発達段階や個性を生かすため、より詳細な観察眼を養い、指導計画を作成。
2	健康を増進する方法の研究	従来の方法以外の方法を研究し、教職員相互に伝達しあう。（従前、外部講師を招聘しての勉強会と別に教職員同士勉強会を実施）
3	地域・保護者や学校との連帯	地域・保護者や学校と連帯し、意見を尊重するとともに、園児が居心地よく生活できる環境を園外にも広げていく。また、さまざまな形態で就労する母親を支援するため預かり保育の時間や長期休み預かり保育の日数を増加させる。
4	活動をコロナ禍前に復活する	引き続き、感染防止に留意しつつ、活動の拡大を図る。令和 7 年度中には、年少組の一年をとおしてのスイミング活動を復活する。

6 学校関係者評価委員会の評価

- a. 最近、区役所が検査に入るようだが、さらに文書事務などが増え、教職員一人ひとりの負担が増加するストレスなどによる心身の健康が心配される。
- b. 園児の減少に対応するため種々の園児増加策を研究し、保育の改善すべきところは改善してもよいが、当園本来の大切にしてきた美点を中心に、活動して欲しい。
- c. 就労する母親への配慮や支援をできる範囲でし、当園に対する心理的な関を感じさせないことを課題にしてほしい。